

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立瑞穂農芸高等学校

全日制課程

1 計画の概要

“生命・環境・未来を大切にすることを実践する”という教育目標を受けて、生徒自らが、近隣の小・中学生や幼稚園・保育所の園児、そして、地域の子供たちと共に活動を行う機会を増やすことで、異年齢間の交流を促進する。同時に、生徒自らが学ぶ専門の学習を教える立場に立つことで、学習の深化と職業観の育成につなげる。

このため、通常の学校見学受入れや中学生の体験入学受入れ、校外実習、さらには1学年「奉仕」などを通じ、様々な地域貢献活動を展開する。

2 実施内容

年数回に及ぶ幼稚園・保育所の園児や小学生による学校見学・訪問がある。中学生の個別体験入学も行っている。その度に、実習中の生徒が説明をしたり、訪問者の世話をしたりする。犬やハムスター、モルモット、フクロモモンガ、コモンマーモセットや乳牛の世話を体験したり、豚の世話、馬との触れ合いなどを手伝ったりしながら、生徒は自分の学習成果に自信をもつと同時に、周囲への思いやりの心を育てている。今年度からは、本校園芸科学科と瑞穂町立第一小学校の交流授業（花壇づくり）が始まった。



3 成果と課題等

【成果】 地域に貢献することを評価され、学習への自信の高まりと、周囲への丁寧な対応と心づかいの意識が深まった。また、ボランティアの意義を体験できた。

【課題】 校外の活動に携わらせるとき、生徒に「しつけ」「忍耐力」を培う必要を感じた。また、活動範囲が広がるとともに、経費増に対する対応が必要となった。

